



「低出生体重児のための母子健康手帳の作成に取り組んでいます」

神奈川県健康増進課長 榎 晴美

神奈川県では、年間約 6 千人のお子さんが 2,500 グラム未満の低体重で生まれています。妊娠を市町村に届け出た際に母子健康手帳が渡されますが、体重が 1,500 グラム未満の極低出生体重児のお子さんなどの場合は、母子健康手帳に記載されている平均的な身長、体重に届かず、親が子の成長を実感できず、不安や心配を感じてしまうことも少なくないということがあります。

静岡県などこのような小さなお子さんのご家族向けの手帳を作成している自治体があり、神奈川県でも今年度この手帳の作成に取り組んでいます。

これまでも市町村の母子保健担当者を対象に、低出生体重児のご家族を支援に必要な専門知識に関する研修を開催したり、県立こども医療センターでは、新生児集中治療室を退院した子どものご家族などへ情報発信するために「早産児の育児応援サイト」を開設するなどの取り組みを行ってきました。

こうした取り組みに加え、低出生体重児を育児するご家族に寄り添い、安心して育児ができるように支援するための手帳を作成します。

そしてこの手帳を通じて、医療従事者・市町村や地域の保健関係者と連携して、低出生体重児を安心して産み育てられる環境を整えていく取り組みを進めていきたいと考えています。

